

ぜひ、お聞きください！

エフエム栃木「RADIO BERRY 76.4FM」
生放送！2月21日午後7時～7時55分

第3弾

なすTeen's RADIO PROJECT

ワークショップ編～



今年も、中学生がRADIO BERRYのラジオ番組制作と生放送に挑戦する「なすTeen's RADIO PROJECT」を企画しました。この企画は、学校教育課と農林振興課との連携事業で、メディアを活用し農業の大切さと郷土愛、コミュニケーションを育むことを目的としています。

今年のテーマは「那須和牛」。和牛の繁殖農家、肥育農家、販売店を取材し、那須和牛が町でどのように生産され、販売されているのかをリスナーに伝えます。

1月16日・23日、那須中央中学生5人と那須中学生2人の生徒が参加し、番組パーソナリティーのくぼたあやのさんの指導のもとワークショップを行い、腹式呼吸のやり方や滑舌よく話す方法、取材方法などを学びました。また、「和牛繁殖、若手農業者」「和牛の繁殖から肥育まで」「那須和牛の販売店舗」の3班に分かれ、それぞれの仕事内容などを調べ、取材でどんな質問をするかを考えました。

繁殖農家を取材する那須中1年の相馬宙翔(さくら)さんは取材と生放送に向け、「農家さんに牛を育てる上でこのこだわりや仕事の大変さ、喜び、農家さんがどんな思いで牛を育てているかを聞き、自分たちがそれをラジオのリスナーに伝える



インタビュー体験。声の大きさや雰囲気づくり、相手が話したい内容を聞くことなどの大切さに気づきました



ラジオパーソナリティー体験。番組ディレクター大買さんのリードのもと自分で考えた那須の旬な情報を話し、曲紹介までつなげました

ことで、那須和牛に関心を持ってもらえるようにしたい。そして、那須和牛をたくさん食べてもらいたい」と意気込みを話してくれました。

2月21日の生放送では、那須和牛のことだけでなく、取材をとおして町の農業をどのように感じたか、町の魅力は何かなども、中学生の言葉でリスナーに伝えます。ぜひ、お聞きください。

租税教室～どんなものに税金が使われているかを考える～

1月26日、町税務課職員による租税教室が田代友愛小学校で行われ、6年生21人が税金の種類や税金が何に使われているかを学びました。

職員は消防署や信号機、橋、道路等の写真パネルを使い、どんなことに税金使っているかを話し、また、「税金がなくなった社会」のDVDを放映し、税金がなくなると社会はどうか、なぜ社会には税金が必要なのかを児童たちに伝えました。荒木悠愛さんは、「社会の多くのものに税金が使われていて、税金がない社会では、一つひとつのことに自分でお金を払わなければならないので大変だと思いました」と話し、また、上空希さんは「教科書や学校生活にも税金が使われていることが分かりました」と振り返りました。

写真パネルを見て、税金が使われているかいないかを考えました



見本の紙幣が入ったアタッシュケースを持ち1徳円の重さ(10kg)を実感しました

